

新規・継続等	新規	分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等	
市町村名	松本市		ふりがな 箇所名	かみたけた 上竹田		事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度～ H26年度	
事業	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	擁壁工 L=220m 落石防護柵工 L=220m				H22年度末事業 進捗率	0%	
	H23年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%	
	H23年度実施内容	測量・調査・設計 1式				用地補償費ベース	0%	
概要	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残		
	事業費計(千円)	150,000	0	0	10,500	150,000		
	国庫支出金	71,250	0	0	4,988	71,250		
	財源 内訳	その他	7,500	0	0	525	7,500	
	県債	64,000	0	0	4,000	64,000		
	一般財源	7,250	0	0	988	7,250		
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評 価			部 ランク	政策評価課 ランク	
					評点	評点		
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	20戸以上	10～19戸	10戸未満	10	10	
		保全対象公共施設数	2箇所以上	1箇所	なし	A 6	A 6	
		保全対象に援護者施設があるか	重要施設あり	一般施設あり	なし	3	3	
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり	なし		1	1	
		小 計				20	20	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去10年に1回以上	災害履歴地	なし	8	8	
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小	A 2	A 2	
		防災計画上の位置づけ	位置づけあり	位置づけなし		2	2	
		小 計				12	12	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C3.0以上	B/C1.0以上3.0未満	B/C1.0未満	14	14	
		早期発現度	5年未満	5年～10年未満	10年以上	A 6	A 6	
		小 計				20	20	
	緊急性 (25)	斜面の高さ	30m以上	10m以上30m未満	5m以上10m未満	5	5	
		斜面平均勾配	45°以上	40°以上45°未満	30°以上40°未満	3	3	
		地質状況	崩積土、火山砕屑物、強風化岩	段丘堆積物	軟岩・その他	A 4	A 4	
		斜面形状(オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形)	あり	なし		0	0	
		植生の状況	不良	普通	良好	2	2	
		保全対象の位置	がけ下にある	がけ上にある		5	5	
	小 計				19	19		
計画 熟度 (20)	地元の協力	用地等の協力が得られる	用地等の協力が概ね得られる	協力が現時点では得られていない	A 7	A 7		
	地域からの要望	高い	それほど高くない		10	10		
	小 計				17	17		
	費用対効果(B/C)	9.03	評 価 の 合 計			A 88	A 88	
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、斜面勾配が最大で37°、最大高さ67mの急斜面下に、保全対象として人家3戸、災害時要援護者施設である「特別養護老人ホーム ピアやまがた」が存在する。ピアやまがたは、土砂災害特別警戒区域に一部指定されており、斜面状況は表層崩壊の跡や浮石が随所に見られ災害が発生した際には甚大な被害を受ける可能性が高いことから、対策工を施工して重大な人的被害を未然に防止したい。						
	地域からの要望経緯	H22年7月に地元から要望あり。						
	事業説明等の経緯	平成17年10月土砂災害防止法の指定にかかわる説明会を実施。						
	環境・景観への配慮項目	特になし。						
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。						
特記事項	蟻ヶ崎児童館及びアパートは、土砂災害特別警戒区域に指定されているため、避難体制の整備および施設の維持管理について、今後の地元説明会で積極的な関与を促したい。							
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他			
部意見	保全対象には人家3戸、災害時要援護者施設である上郷南保育園等がある。近年は落石が発生しており、早急に対策が必要である			政策評価課 意見	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。			